

私は、今回の中国人留学生への日本語授業をすることに対して、うまくできるだろうか、しっかりと説明できるだろうか、理解してもらえるだろうか、という不安と緊張がありました。その反面、初めて自分が教師という立場になることに対しての楽しみや、どういった授業になるのかという楽しみも少しだけありました。

第一回目の授業では、誰がどこを担当するのか、を決めることから始めたのですが、それを決めるだけでも時間がかかりました。それが決まった後は、どの流れで授業をするか、どうやって説明するか、どんな教材を使用するかなど準備にとても時間がかかりました。私たちのグループは、ペアごとに役割を決めたのですが、ペアの人と自分自身の考えや意見が異なったりして、なかなか準備が進まない部分もありました。それでも、準備はしっかりできたと思い授業に挑みました。授業本番では、学習者の前に立つだけでとても緊張し、アイコンタクトをとることがあまりできませんでした。今日はどのような内容の授業をするのか、練習問題をする際の説明、次の活動に進むときの説明など、私たちの伝えたいことが学習者に伝わっているかどうか、とても不安でした。また、学習者にうまく伝わってなくて学習者が混乱しているときに、わかりやすい説明をすることができませんでした。授業後の反省会では、先生が撮ってくださったビデオをみんなで見ながら反省をしましたが、自分の様子をビデオで見るのがとても恥ずかしかったです。しかし、ビデオで振り返ることで、「ここはこういう説明の仕方ができたね」「ここはこうするともっといいね」など反省するべき部分と、良かった部分の両方を知ることができました。第一回目の授業を終えて、恥ずかしがらずにハキハキと喋ること、もっとわかりやすい説明を心がけることを次頑張りたいと思いました。

第二回目の授業は、一回目と同じような感じで準備を進めていったので第一回目に比べてスムーズに準備を進めることができるかと思いましたが、二回目の授業も準備には結構時間がかかりました。どう説明するかを考える際に、一回目の授業の反省点であった「わかりやすい説明」を心がけて授業に向けて準備をしました。授業本番では、一回目の授業の反省点であった「ハキハキしゃべること」を意識してやろうと心がけました。二回目の授業も緊張しましたが、一回目に比べてリラックスしてすることができた気がします。説明をする場面では、学習者に伝わっている部分もあればそうでない部分もありましたが、違う説明の仕方ですらなんとか理解してもらえた部分もあったのでそこは良かったかなと思いました。また、一回目の授業ではできなかったアイコンタクトもとることができたので、一回目の授業の反省点を二回目の授業に活かすことができたと思います。二回目の授業では、音声の練習も自分の担当でした。CDを使用しての授業をしましたが、CDに頼ってばかりで、学習者が理解できていないときや正しい発音できていないときに、正しい発音と間違った発音を言って聞かせることができませんでした。それは、練習が足りず自信がなかったからだと思います。もっと自分自身が正しいアクセントやイントネーションを練習する必要があることと、自分が正しい発音と間違った発音の両方を言えるようにしておくことが必要だということがわかりました。ロールプレイでは、学習者同士でロールプレ

イをしてもらったあとに、ビデオで一度確認をして訂正をはじめました。ビデオを見ている間に、ホワイトボードに学習者の言い間違いを書いたのですが、すべての間違いを書くことができませんでした。また、ビデオを見ながらホワイトボードに書いてしまったので、学習者がビデオに集中できていませんでした。学習者の言い間違いの訂正の仕方がもっと他の方法があったのではないか、どうすれば間違いを聞き逃さずに訂正できるかを考える必要が、反省点として出ました。また、学習者からの予想外な質問に対してうまく答えられなかったことや、板書計画の大切さなども新たに知ることができました。

第三回目の授業も、一回目二回目と同じように準備を進めていきました。その中でも、どういった説明をするのか、前回の反省であったどのような質問をされそうなのか、板書計画を立てることに時間をかけました。授業本番では、三回目ということもあって緊張感もだいぶ減り、楽しんで授業をすることができたのではないかと思います。しかし、うまく説明できない場面や、質問にうまく答えられないことがやはりあり、もっとより良い授業をしたかったという気持ちが大きかったです。

今回、三回の授業を通して、準備の大変さや大切さ、自分自身の足りない部分を知ることができました。準備は大変だし授業をするのは緊張しますが、学習者が一生懸命聞いてくれたり、理解しようとしてくれたり、必死にメモをとってくれる姿がとても嬉しかったです。特に学習者がメモを取ってくれた時は、一番嬉しくて一生懸命準備して良かったな、またメモを取ってもらえるように頑張ろう、という気持ちになることができました。また、一回目二回目と授業を重ねていく中で、少しずつですがハキハキしゃべれるようになったり、アイコンタクトをとれるようになったり、なにが必要かを前もって考えたりする力をつけることができたと思います。まだまだ改善点はありますが、実際授業をすることはどんな感じなのか、授業をする中でうれしいこと、大変なこと、難しかったことなど沢山のことを学ぶことができました。今回授業をしてみて、自分には度胸が足りないなと強く感じました。毎回の授業を終えるたびに「次はもっとハキハキやろう」と思ったのにもかかわらず、少ししか改善することができなかつたので、これから度胸をつけていけるようにしたいと強く思いました。また、今回学んだことを後期から始まる実習に繋げていけるようにしていこうと思います。